

平成 30 年度 第 1 回学校運営協議会 記録

日時： 平成 30 年 6 月 30 日（土） 9:30～11:30

場所： 大阪府立布施北高等学校 会議室

出席者： 学校運営協議会委員 7 名、校長、教頭 2 名、事務長、首席、教諭 1 名

1 校長挨拶

- ・大阪北部地震について
- ・本校の紹介

2 委員および学校側参加者の紹介

3 学校運営協議会について（説明）

4 平成 30 年度「学校経営計画」について（説明）

- ・めざす学校像
生徒の「社会と調和し自立して生きる力」を育み、地域から信頼される学校
- ・中期的目標
学習活動の充実、人権教育を基盤とした魅力ある学校づくり、キャリア教育・進路指導の充実、エンパワメントスクールへの改編期の 3 学科の教育活動の充実と完成期へ向けて積極的な情報発信

5 委員からの意見聴取

- ・授業満足度を上げるために、学びなおしのための、わかりやすい授業が大切である。授業の満足度を高め、進路決定率を上げることが、布施北高校の特色に繋がる。
- ・布施北高校の特色であるデュアル実習等を通して、「望ましい勤労観」を育てるためのキャリア教育にしっかり取り組んでほしい。そのための地域連携をますます進めてほしい。
- ・生徒支援の為に、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用したケース会議をどのように実施しているのかを知りたい。
- ・遅刻・欠席を減らす指導を継続し、中退予防に繋げてほしい。

6 提言

- ・「学校経営計画」に関して、最優先の重点目標を教職員全員が共有することが重要である。
- ・教職員の時間外勤務の多さが課題である。優先順位をつけて業務の取捨選択をすることも必要である。また、地域資源の活用も検討する。